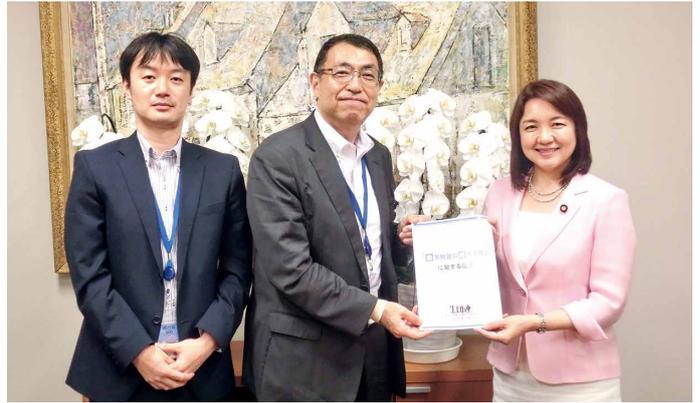


「国家財政の見える化」実現に向けて

6月の生団連定時総会記念パーティでの「公明党では早くから財政の見える化に対する取り組みを行っている」という山口代表からのご挨拶を受け、初当選時から9年間に渡って「財政の見える化で日本の経営改革」に取り組まれている竹谷とし子参議院議員を訪問し、意見を交わしました。

公認会計士資格を持つ竹谷議員と一緒に、勉強会や議連へ提出する提言書作成を進めていきます。

竹谷とし子参議院議員(右)へ、「国家財政の見える化」に関する提言を手渡す生団連佐藤理事事務局長▶



財務省公会計室との意見交換会

竹谷議員にご紹介いただき、財務省公会計室との意見交換会を実施しました。生団連が考える連結財務諸表についての考え方や、早期の情報開示、国会での審議に取り入れる為には、など財務省公会計室としてのお考えを伺いました。

財務省公会計室より 財務書類等の公表について、現在は特別会計財務書類のみ会計検査院の現地検査を受け、国会資料として提出されています。それは「特別会計に関する法律」に則って進められています。

財務書類等は、1月に一般会計と特別会計を合わせた国の財務書類を、3月に独立行政法人等を合わせた連結財務書類を、それぞれポイントや内容等をわかりやすく説明したパンフレットとともに公表し、1月公表分については全国会議員に配付しています。

なお、特別会計財務書類については、「特別会計に関する法律」により会計検査院の検査を経て国会に提出しています。

事務局としての活動 今回の意見交換会で、財務書類等の公開についての考え方や、それにまつわる法律や仕組みを理解することができました。一般会計と特別会計を合わせた国の財務書類全体が国会で審議されるためには、国の財務書類の情報をより普及させることが大切であり、その推進を図ってまいります。

また、国民にとっての見える化については、より簡単で分かりやすい内容であるべきだと考えているため、公会計室が公表している資料とは別に「国民向けのリーフレット」のようなものを作ることも一つの案と考えています。

今後も財政の見える化に取り組む議員や他団体との連携を図りながら、公会計制度推進議員連盟へ生団連としての提言ができるよう活動を継続してまいります。



▲当日の様子